

伝えよう、三計と半九の教え

そっけん 息軒だより

一日の計は朝(あした)にあり
一年の計は春にあり
一生の計は少壮の時にあり



令和2年度 2・3月号 (第24号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO法人 安井息軒顕彰会
理事長 齋藤義輝
館長 川口眞弘

〒889 - 1605

宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1

TEL:0985-84-0234 Fax:0985-84-2634

e-mail:sokken.yasui@pic.bbq.jp



QRコードを読み取ると、記念館のHPがご覧になれます。

★天然痘に負けなかった息軒、そして今私たちもコロナに負けない★

令和2年度が終わろうとしています。年度当初は、まさかこのような事態が発生しようとは夢にも思いませんでした。これまでの凡庸な日常生活が根底から覆されるまさに非常事態で、しかもこのコロナ禍は、人類はおろか地球上の生物全てに大きな影響を及ぼしています。こうした中、当館主催の講座やイベント、企画なども変更せざるを得ない状況が続きました。特に年明けから宮崎市を中心とした新型コロナウイルス感染の急拡大で、1月7日宮崎県は非常事態宣言を発令、それに伴う措置で当館も臨時休館になりました。

記念館および安井息軒顕彰会役員で協議した結果、やむを得ず以下のイベントを中止と決定しました。

- ・実行委員会主催で例年3,000人近いお客様で賑わう「第19回安井息軒梅まつり」
- ・毎年梅の咲く時期に、お茶の先生方のご支援で開催している「呈茶」
- ・梅や旧宅、記念館をテーマにした第1回「安井息軒写真コンテスト」、「短歌・俳句コンクール」

残念ですが、気持ちを切り替えて一日も早く笑顔でイベントを楽しめる日常が戻ってくるよう、今は感染予防を徹底しながら記念館の再開に向けて準備しております。

★企画展「清武と飢肥の時代の安井息軒」準備完了★

宮崎市安井息軒記念館の企画展は、安井息軒の77年間の人生を3つのステージに分割して、宮崎が生んだ郷土の偉人、日本を近代化に導いた知の巨人、安井息軒大成の秘密に迫ります。

今回は本年度再版した「まんが『郷土の偉人 安井息軒』」の画像や挿絵なども活用して、少年時代や苦学時代のエピソードなども採り入れながら、安井息軒についてあまりご存じない方や、お子様にも親しめるような内容にしています。また、新型コロナウイルスの感染状況が比較的沈静化していた11月初旬に大阪や東京にも現地取材して、その成果も展示しています。

安井息軒が22歳から3年間苦学した大阪では、当時の蔵屋敷について調査し、飢肥藩の蔵屋敷の所在地を特定するとともに、その仕組みや実態にも迫りました。25歳から3年間苦学した東京では、湯島聖堂を訪問し、聖堂の事務局長や全日本漢詩連盟の事務局長に内部をご案内いただき、大変有難く感じました。これも昌平坂学問所の儒官(教授)を務め“文久の三博士”と呼ばれた息軒の遺徳かと思えます。コロナ禍の影響で企画展のスタートが遅れますので、会期を延長して開催します。本県の緊急事態宣言が解除されて開館になりましたら、ぜひお越しください。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

令和2年度企画展 「清武と飢肥の時代の安井息軒」

会期：令和3年2月9日(火)～5月9日(日)

会場：宮崎市安井息軒記念館 特別展示室

開館時間：9:00～16:30(最終入館16:00)

※今企画展は期間を延長して開催します。

入場無料



★安井息軒記念館ホームページ一新★

当館および顕彰会はホームページを一新しました。日本を近代国家に導いた知の巨人、安井息軒の凄さにスポットを当てた、ドラマチックで見ごたえのあるホームページになっています。

「宮崎市安井息軒記念館」で検索していただきますと、パソコンとスマートホンの、どちらでもご覧になれます。おうち時間を利用して、安井息軒についていろいろと学んでみませんか!?

YouTube も埋め込まれており、清武小学校児童による安井息軒にまつわる見事な劇や合唱（「息軒先生のうた」）を鑑賞することもできます。

また、茶室利用や団体見学、遠足や社会見学の申し込み、当館職員が学校や職場に出向いての出前授業・講座などの申し込みフォームもあります。お問い合わせもできるようになっています。

どうぞこの機会に安井息軒に関するネットサーフィンやオンラインツアーをお楽しみください。



★安井息軒ふるさとウォーク★



旧清武町、旧田野町および宮崎市南部の一帯は、江戸時代清武郷と言われ、飢肥藩の北の要衝でした。特に中野地区には、役所である地頭所が置かれ、武士が多く住んでいました。

今回は、息軒が青年期までを過ごした中野地区に残る史跡を巡ります。

日 時：令和3年3月7日（日） 9：30～12：00（受付 9：10～）

定 員：30名

★コロナ禍の合間を縫って安井息軒バスツアーを開催★



12月13日（日）安井息軒バスツアーを開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を心配しておりましたが、なんとか実施することができました。当日はお天気にも恵まれ、小春日和の穏やかな陽射しの中、参加者の皆さんといにしへの旅人に思いを馳せながら山道を歩きました。



花立公園展望台



山仮屋への山道入口



杉林の中を進む



石垣だけが残る山仮屋関所跡



巨石の下にひっそりたたずむ山神社



山仮屋隧道



椿山森林公園



殿様道路



★安井息軒記念館・旧宅の梅の香りをお届けします★



今年は誠に残念ながら、梅の花咲く頃の「呈茶」も、そして恒例の「梅まつり」も中止になってしまいましたので、『息軒だより』にて今年の梅の画像をお届けします。来年はどうぞ「呈茶」「梅まつり」にお越しく下さい。さらに来年度こそは、梅や旧宅をテーマにした「安井息軒写真コンテスト」や「安井息軒短歌・俳句コンテスト」を開催する予定です。



★ご存じですか？ 旧宅の石碑★

～実は徳川家達(いえさと)書の石碑もあるんです!!～



息軒先生誕生地石碑
揮毫は慶喜の次に、明治になって徳川家を継いだ家達です。



※徳川慶喜(よしのぶ)
徳川幕府第15代征夷大將軍
江戸幕府最後の將軍かつ日本
史上最後の征夷大將軍。

誕生の地の石碑
建設の碑



安井息軒先生
顕彰の碑

まんが『郷土の偉人 安井息軒』を宮崎市立清武小学校に贈呈

1月26日（火）、宮崎市教育長立ち会いの下、理事長が清武小学校（日高 伸校長）児童に贈呈しました。マスコミ取材もあり、贈呈の様子のほか理事長から激励の言葉、児童代表の軸丸由葵さんへのインタビューなどが当日夕方のニュースで放送されました。新聞にも取り上げられ、ご覧になった方が購入に来館されるなど大きな反響がありました。まんが『郷土の偉人 安井息軒』は記念館のほか、宮崎市清武総合支所隣の「四季の夢」で販売しております（税込500円）。



当顕彰会顧問の山元宣宏宮崎大学准教授に研究助成金

一般財団法人みやぎん経済研究所が選ぶ【2020年度】第39回宮崎銀行ふるさと振興助成事業学術研究部門に、「宮崎の偉人 安井息軒による論語解釈の研究」で当館主催「みやぎ三計塾」の講師である宮崎大学山元宣宏准教授が選ばれました。山元先生は平成30年度から顕彰会事業の「みやぎ三計塾」（テーマ「安井息軒の著作を読む」）の講師を務めていただいております。今後のご活躍と併せて顕彰会の学術部門の中核となってお力いただけることを期待しております。



令和2年度 清武町史セミナー全6回終了

『清武町史』の執筆者の一人である松浦祥雄先生による、令和2年度清武町史セミナーが終了しました。今年度は中世・南北朝から戦国時代（日向国初期戦国時代～第四次飢肥攻防戦）までを、質疑応答を交えながら楽しく学びました。令和3年度も引き続き松浦先生に講師をお願いし、戦国時代後期の伊東氏の盛衰、秀吉の九州下向と九州・日向分国、秀吉政権下の清武等について解説していただく予定です。



令和2年度 安井息軒梅まつりは中止になりました

毎年、2月11日（建国記念の日）に開催しておりました安井息軒梅まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための宮崎県緊急事態宣言を受け、残念ながら今年度は中止することになりました。（1月10日の実行委員会で決定）昨年の春から一年がかりで開催に向けて準備を進めていただきました関係各位、および梅まつりの開催を楽しみにして下さっていた皆様に深くお詫び申し上げます。

<引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いいたします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しております。手指の消毒をお願いいたします。
- ・入館時に「利用者名簿」へのご記入と検温にご協力ください。



会員随時募集中

NPO 法人 安井息軒顕彰会では新規会員を随時募集しています。お問い合わせは右記事務局まで。

年会費

- 一般会員 2,000円
- 賛助会員 1,000円
- 学生会員 500円
- 団体会員 5,000円（1口）



※令和2年度の会費の納入がお済みでない方はよろしくお願いたします。

☆新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの日程等の変更や中止の可能性があります。詳しくは記念館までお問い合わせください。（0985-84-0234）

NPO 法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1
（宮崎市安井息軒記念館内）

電話：0985-71-3005 携帯：080-8589-0569

e-mail：yasuisokken@yahoo.co.jp

